

LPガス販売事業者
LPガス設備施工業者

の皆様へ

LPガス用ねじガス栓[MSC, MSD型]




取扱説明書

この取扱説明書は、主としてLPガス販売事業者・LPガス配管設備士の方を対象に、製品説明、安全のために、設置工事、維持管理、お客様への説明、連絡先の順に作成してあります。


お客様に、安全にLPガスをご使用していただくために、液化石油ガス法及び関係基準を遵守するほか、この取扱説明書をよくお読みになり、LPガス設備の安全を図ってください。

この説明文の前やイラストに付したマークの指示と内容は、次のようになっております。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

	この記号は、「禁止」の行為であることを告げるものです。
	この記号は、「注意」を表し、この表示を無視して誤った使い方をすると人が傷害を負う可能性が想定される内容、及びガス漏れによる火災発生などの物的損害の発生が想定される内容を示します。
	この記号は、「必ず実施」していただく内容を告げるものです。行為を強制したり指示する内容を示します。

1. 製品説明

 ねじガス栓(以下ガス栓という)は、財団法人日本LPガス機器検査協会の適合性検査合格品です。右の合格マークを確認してください。

■ガス栓の用途

ガス栓は、調整器から燃焼器具までの間に設置される供給管又は、配管に主として接続される「閉止弁」です。

■ガス栓の設置目的

ガス栓の設置目的は、事故を未然に防止するためで、次のような位置には、必ず設置する必要があります。

- (1) 共用管から各使用者への分岐箇所
- (2) 主要な分岐箇所
- (3) 用途の異なる使用形態(ボイラー用と厨房等)への分岐箇所
- (4) 常時使用する設備(調理場等)と季節的に使用する設備(暖房用等)など、使用形態の異なる分岐箇所
- (5) ビル各階ごとへの分岐箇所
- (6) テナントごとへの分岐箇所
- (7) 点検、検査等のため必要な箇所
- (8) メータの上流側

2012. 3. 31以前



2012. 4. 1以降



■型式・仕様

型式	ハンドル仕様	気密試験圧力	使用温度範囲	定格流量 空気(LPG)
MSC-15L	レバー	22.5kPa (0.23kgf/cm ²)	-10~70℃	6000L/h(約9kg/h)以上
MSC-15H	つまみ			
MSC-15HN	つまみ			
MSC-20L	レバー			10000L/h(約15kg/h)以上
MSC-20H	つまみ			
MSC-25L	レバー			13000L/h(約20kg/h)以上
MSC-32L				21100L/h(約32kg/h)以上
MSC-40L				29000L/h(約44kg/h)以上
MSC-50L				47000L/h(約71kg/h)以上
MSD-15L	レバー			6000L/h(約9kg/h)以上
MSD-20L	レバーロック付			10000L/h(約15kg/h)以上

※ 定格流量は、圧損水柱10mmのときの空気量を示す。(LPG換算参考値)

■外観寸法及び形状

型式	接続ねじ	L	S	H	W	ハンドル形状
MSC-15L	Rc1/2	54	28	42	80	図2
MSC-15H				44	60	図3
MSC-15HN				36	50	図4
MSC-20L				50	65	図5
MSD-15L				50	65	図5
MSC-20L	Rc3/4	65	34	45	80	図2
MSC-20H				47	60	図3
MSC-20L				39	50	図4
MSD-20L				53	65	図5
MSC-25L	Rc1	73	40	55	118	図6
MSC-32L	Rc1 ¹ / ₄	83	48	63	132	
MSC-40L	Rc1 ¹ / ₂	96	55	68	132	
MSC-50L	Rc2	108	67	78	143	

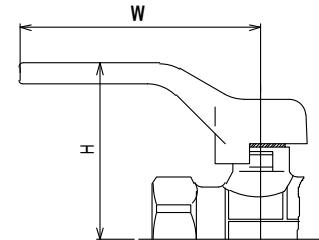
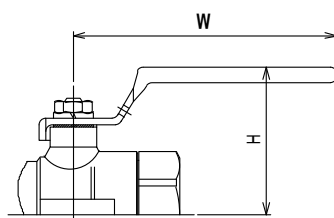
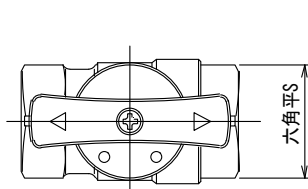


図2 MSC-15L, 20Lハンドル形状

図3 MSC-15L, 20Lハンドル形状

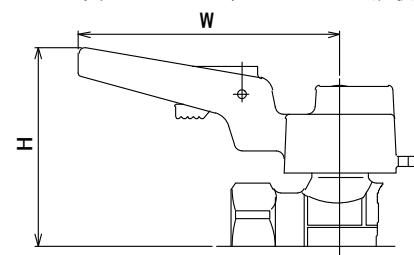
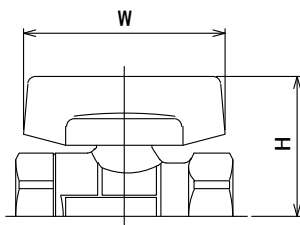
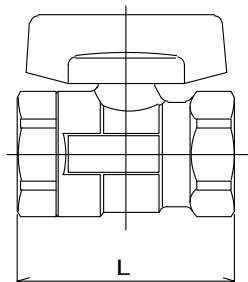


図1 MSC、MSD-20以下の主要寸法箇所 図4 MSC-15H, 15HN, 20Hハンドル形状 図5 MSD-15L, 20Lハンドル形状

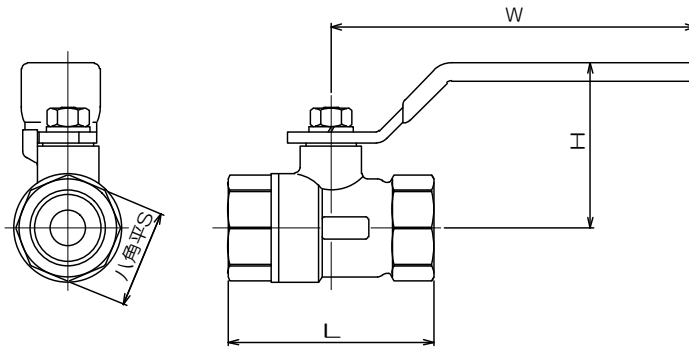
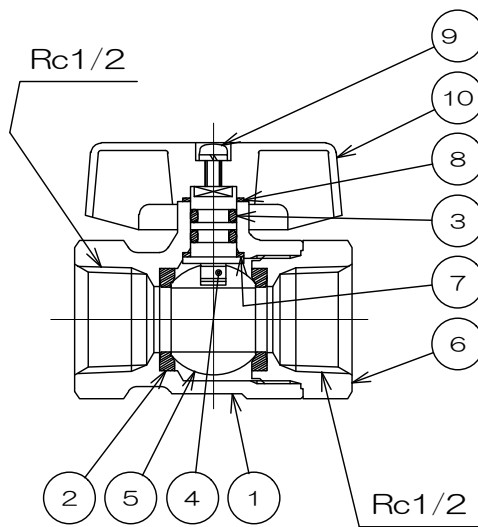


図6 MSC-25L以上の主要寸法箇所及びハンドル形状

■構造

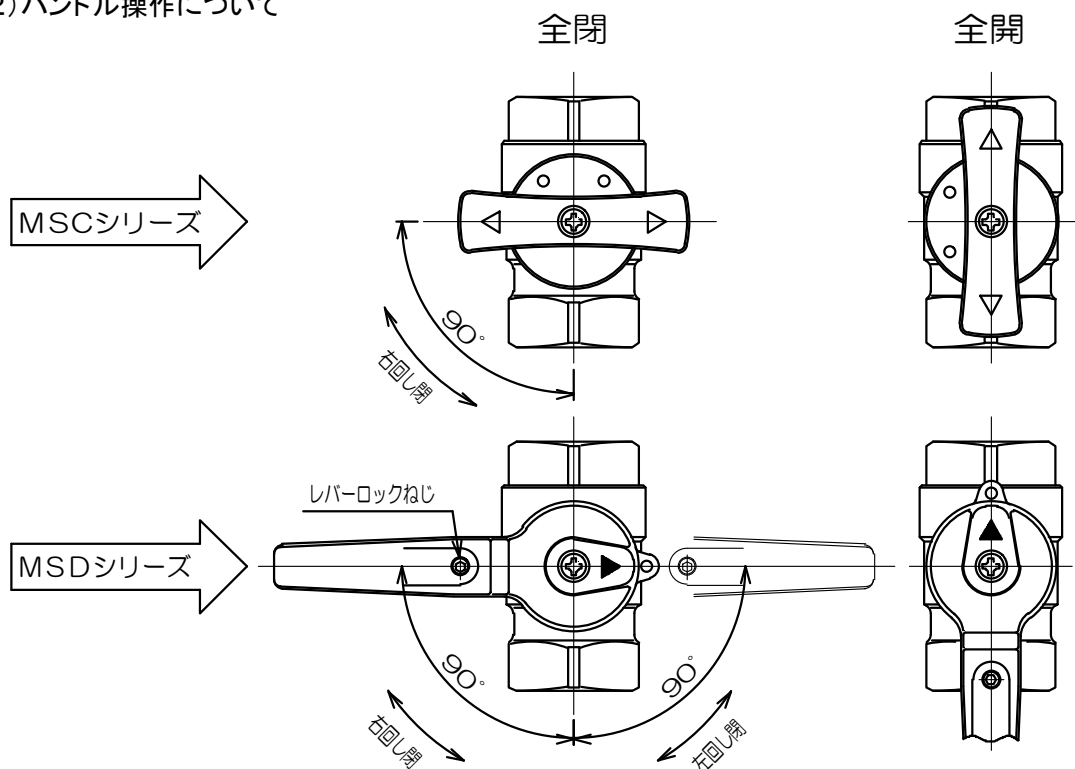
(1)内部構造

MSC-15Hを代表例として下図に記載します。



10	つまみハンドル	ZDC2
9	座金付小ネジ	SUS304
8	スラストパッキン	PTFE
7	グランドパッキン	PTFE
6	エンドキャップ	C3602B
5	ボール	C3604B
4	ステム	C3604B
3	O-リング	NBR
2	シートパッキン	PTFE
1	ボディ	C3771B
No.	部品名	材質

(2)ハンドル操作について



2. 安全のために

- ⊘ このガス栓は、LPガス専用のねじガス栓です。LPガス以外に使用すると機能が損なわれる恐れがありますので、他の用途には、使用しないでください。
- ⊘ このガス栓は、工場で精密に組み立てられております。分解、改造をするとガス漏れなどによる事故の原因となりますので絶対に分解しないでください。
- ⊘ 埋設用としては、設計、製作しておりませんので、埋設設置はしないでください。
- ⊘ このガス栓は、冠水する場所、湿度の高いところ及び腐食性ガスの影響を受ける恐れのある場所には、設置しないでください。
- ⊘ このガス栓は、燃焼器具の炎を直接受けるところ、輻射熱を受ける場所及び衝撃を受けやすい場所への設置は避けてください。
- ⊘ このガス栓のハンドル位置は、「全開」又は「全閉」で使用してください。ハンドルの回転が固い場合、ハンマーなどでたたいて無理に回すと、ガス漏れの原因となりますので絶対にしないでください。

3. 設置工事

- ⚠ ガス栓の設置、取付工事は、LPガス設備士自らが行ってください。
- ⚠ 配管にガス栓を取り付ける際には、ガス漏れのトラブルを防止するため、ねじ部の切粉やゴミなどの異物を完全に除去してください。配管のねじ山には、耐LPガス性のシーリング剤を塗布してください。ガス栓内へのシーリング剤のはみ出しを防止するため、ねじ先端の1山にはシーリング剤を塗布しないでください。
- ⊘ シールテープは、切れ端がガス栓内に浸入するおそれがありますので、使用しないでください。
- ⚠ 配管にガス栓をねじ込む際は、本体の配管に近い側の六角部に、スパナを正しくかけてねじ込んでください。
過剰な締め付けは、破損、ガス漏れの原因となりますので、適切な力で締め込んでください。
締め付けは、手締め後、1.5回転のスパナ締めを標準とします。
締め付けトルクは、下記表を目安として下さい。

締め付ける力の目安

ネジサイズ Rc	締め付けトルク N・m(kgf・cm)	スパナ使用による締め付ける力	
		使用スパナサイズ mm	締め付ける力 N(kgf)
1/2	34(350)	250	137(14)
3/4	44(450)	375	118(12)
1	54(550)	375	144(15)
1 ¹ / ₄	78(800)	450	174(18)
1 ¹ / ₂	83(850)	600	139(14)
2	108(1100)	600	180(18)

⊘ ガス栓の締め付けには、パイプレンチは、絶対に使用しないでください。

⚠ ガス漏れの原因となりますので、ガス栓に無理な配管の曲げ応力が加わらないように正しく設置してください。

● 設置完了後には、気密検査などの法的検査を実施し、ガス栓のハンドルが正常に作動する事を確認してください。

4. 維持管理

⚠ 点検、調査時には、ガス漏れのほか、ハンドルの操作性についても確認し、ハンドルの回転の重いものは新品と交換してください。

⚠ ガス漏れ検査液を塗布した後は、錆などの発生を防ぐため、良くふき取ってください。

⚠ 接続されていないガス栓には、必ず止め栓を施してください。

⚠ この製品が原因で事故となり損害が生じた場合、製造後10年以内に期間に限り、生産物賠償責任保険により補償いたします。

製造後、10年以上経過したガス栓は、経年劣化により製造時の品質が維持できない場合がありますので、生産物賠償責任保険の有効期限が過ぎた製品は、新品と交換して下さい。

5. お客様への説明

- 販売店の皆様は、この取扱説明書の「安全のために」「維持管理」等について必ずお客様へご説明した後、連絡先をご記入の上お渡し下さい。
- 保証及び保証書に関する必要事項を、お客様に説明してください。

本製品についてのご質問、及び定期点検のご相談、ご依頼は下記の営業所までご連絡ください。



本 社	〒104-0061	東京都中央区銀座西 1-2	(Tel) 03-3535-5575	(Fax) 03-3567-6834
甲 府 工 場	〒400-0206	山梨県南アルプス市六科 1588	(Tel) 055-285-0111	(Fax) 055-285-3284

札幌営業所	(Tel) 011-786-1110	(Fax) 011-786-1120	名古屋営業所	(Tel) 052-951-3860	(Fax) 052-951-3862
仙台営業所	(Tel) 022-295-4670	(Fax) 022-295-4671	大阪営業所	(Tel) 06-6541-8711	(Fax) 06-6541-8718
東京営業所	(Tel) 03-3535-5571	(Fax) 03-3567-6834	九州営業所	(Tel) 093-921-0981	(Fax) 093-921-0984